

こぎやんとがあったよ！
見なっせ 聞きなっせ

たかもりタウン TOPICS トピックス



商工会法施行65周年記念熊本県商工会大会

1月16日(金)

令和8年1月16日(金)に熊本ホテルキャッスルにおいて、商工会法施行65周年記念熊本県商工会大会が開催されました。

本大会は、熊本県商工会連合会の主催により、商工会法(昭和35年施行)施行65周年という節目を祝うとともに、永年にわたり商工会事業に尽力した商工会並びに役職員の功績を称えるものです。

大会では表彰状伝達式が執り行われ、吉良充展さん(高森町商工会会長)が中小企業長官表彰を受賞されました。

この表彰は、長年にわたり商工会の運営および小規模事業者支援に多大な貢献をされた方の功績を顕彰するものです。



前列中央 高森町商工会 会長 吉良充展さん

令和7年度高森町青少年育成町民会議啓発講演

令和8年1月22日(木)、「いのち」と「性」について正しく学び、家庭・学校・地域が連携し、地域全体で子どもの安心・安全な成長を支えることを目的に、「令和7年度高森町青少年育成町民会議啓発講演」を開催しました。

講師にNPO法人せいしとらんし熊本 理事長 中村和可子氏をお迎えし、「『いのち』と『性』を語ることから始まる、子どもを守るまちづくり～家庭・学校・地域がつながるために、今できること～」をテーマにご講演いただきました。

講演では、子どもが安心して話せる「安全な環境」をつくることの大切さや、家庭や地域の中で性について自然に話し合える関係づくりの重要性について、具体的な事例を交えながらお話しいただきました。また、発達段階に応じた子どもへの関わり方や、大人が学び続ける姿勢の大切さについても触れられ、家庭・学校・地域が連携して子どもを支えることの重要性を再認識する有意義な講演会となりました。



1月22日(木)

含蔵寺保管の長目塚古墳出土品 阿蘇神社に返却

1月23日(金)

当町では高森町史編さん事業に伴い、含蔵寺が保管する出土品を調査した結果、5点の出土品が阿蘇市長目塚古墳(阿蘇神社所有)の出土品であることが判明しました。

このたび、含蔵寺の本田裕樹住職が令和8年1月23日(金)に阿蘇神社を訪れ、阿蘇惟邑宮司に出土品5点を返却しました。

返却された出土品には古墳時代に朝鮮半島で作られた土器が含まれ、貴重な資料となります。

長目塚古墳の出土品は、熊本県重要指定文化財(考古資料)に指定されており、返却分は追加指定される見込みです。

今日まで出土品5点を大切に保管・管理していただきました含蔵寺をはじめ、地域の皆様に感謝申し上げます。



右が含蔵寺本田裕樹住職
左が阿蘇神社阿蘇惟邑宮司



返却された5点の出土品(うち4点が朝鮮半島で作られた土器 ○印)

農林水産業功労者表彰式

1月26日(月)

令和8年1月26日(月)にホテル熊本テルサで熊本県農林水産業功労者表彰式が行われ、荒牧弘幸さんが受賞されました。

荒牧弘幸さんは、熊本県畜産農業協同組合連合会代表理事会長を5年4か月、公益財団法人熊本県畜産協会会長を5年3か月務められました。10年以上農業に係る団体の役員として団体の指導育成に特に功績があるとともに50年以上にわたり農業に従事されているため表彰されました。

